

般社団法人

「からっ風诵信」

第142号 2020年10月発行

巻 頭

『臨床実習指導者』としてあなたが大切にしたいことは?

群馬大学医学部附属病院 長谷川 明洋

臨床実習は、その実施方法や評定方法などが、学校養成施設や臨床実習施設によって多様です。従来の個別担 当制をベースにした実習から、診療参加型実習への移行の過渡期にあり、更には、COVID19への対応も重なり、臨 床実習現場、教育現場では大小様々な混乱への対応を余儀なくされていることと思います。

読者の方も周知のとおり、理学療法士・作業療法士養成施設指定規則の一部改正に伴い、臨床実習指導者は、厚 生労働省が指定した臨床実習指導者講習会等を修了することが求められました。

臨床実習のあり方はこれからダイナミックに変わっていきます。

今回、そのような時代の変遷の真っ只中にいる読者の皆様にぜひ、臨床現場での実習への関わり方やどのように 向かい合うのか、今一度思いを馳せていただきたく筆を執ることにいたしました。

〈診療参加型の実習の強みと実習指導者の戸惑い〉

クリニカルクラークシップに代表される診療参加型の実習は、実際の臨床を通して、医療・介護現場等で必要とさ れる知識・技能を自主的に学ぶ実習形態であり、活きた診療技能と医療者に相応しい態度を修得することが目的で す。チームの一員として実習生が参加し、数多くの疾患、対象者の方と接する事ができるのが特徴で、本人の理解度 や習熟度に応じた学習ができるという強みがあります。

実習指導者のふるまいをトレースする形で知識や技能、態度といったものを取り込んでいくスタイルは実習生にと っては分かりやすく魅力的に感じるかもしれません。

一方で実習指導者はというと、様々に思うことがあるのではないでしょうか。

「自分を通じて生きた診療技能とふさわしい態度を習得するとか、正気か?」

「ずっと見られ続けるとプレッシャー感じるけれど、見てくれなければ、それはそれで、傷つくよね。何それ」

「実習生がチームの一員として参加とか言うけど、そもそも俺がチームの一員かどうかも微妙な時あるけど、大丈夫

すみません。これは私の心の声です。

ここまでひどくないにせよ、このようなナイーブな問題が山のようにあります。

従来型の実習にせよ、診療参加型にせよ実習は指導者自身も自分の弱さや課題と向き合わなければならないの で、実習生を受け入れるというのは簡単ではありません。

「できるなら穏便にお断りしたい…」と思う人の気持ちは良く理解できます。

「とにかく面倒だ!」というのもまあ、仰る通りかもしれません。

わかっているのです。そんな軟弱なことではダメだということくらいは。

知っているのです。後進の育成は先輩である私たちの責務であることも。

怖いです。こんなことを書いて新井会長に怒られるのが。

ですが、誰が何を言おうと、私はロボコップではなく生身の人間ですので、弱気になることはありますし、面倒に思うこともあるのです。

このように私は軟弱で悩みはしますが、以前のようには自分自身を追い込むことはなくなりました。

それは自分の得意なところや良い場面を殊更、修飾し強調して見学(学習)させようなんて、傲慢にすぎる。そう気づいたからです。

実習指導者が臨床の世界の良き導き手としてそこに存在するなら、実習生のそばにいて気にかけてあげられるのならば、実習生は自ずと学習していけるのだと気づいたからです。

もちろん、実習生個人の特性は様々で、関わり方には工夫が必要です。重大な問題を抱えている場合は養成校の先生 方との連携も重要です。ただ、彼らの成長すべてを実習指導者が背負う必要はないし、そのような呪縛は捨ててしまえば 良いというのが私の考えです。

〈実習指導者として、あなたが大切にしたいことは?〉

私は今まで多くの実習生に出会いました。そこでわかったことは、追い込まれていく実習生に共通することは「孤独である」ことでした。複雑な家庭環境や人間関係の中で、孤独が色濃くでている実習生には注意を要します。

また同様に自分以外の実習指導者が指導する姿もたくさん目にしてきました。そこでは、残念ながら実習生を追い込んでしまう指導者がいたのも確かです。単純に課題の量が多いとか、高圧的な態度をとるとか、それだけではなく、彼らは、意識的かどうかはともかく「実習生を孤立させている」という点で共通していました。

私の所属するOT部門のスタッフの実習生への関わり方は、なんというか自由気ままです。私が、いい加減なこともあって、自由にやっています。自由すぎて、管理者の私がイライラする事すらあります。ただ、彼らは実習生を見ていく時に、追い込んだりしません。自由に放っているように見えても、孤立させるということは決してないのです。だからこそ、他のことではいろいろと言いたくてたまらない私ですが、こと、実習に関してはOTスタッフに全幅の信頼をおく事ができます。

そういった経験などから私は、実習指導者としての大切な役割の一つは、実習生を孤立させないことだと考えています。 単純に独りにしてはいけないとか、常に一緒にいなければならないという意味ではありません。実習で経験したこと通 じて内省し、深く思考を巡らせることは、独りでないとできないことで、それは成長していく上で大切なプロセスです。

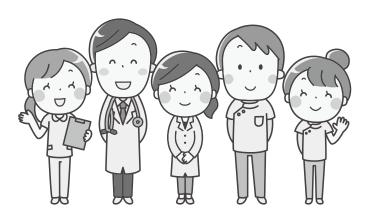
そうではなく、無関心に放置し孤独にさせることが最悪だと思うのです。

これからどれほど臨床実習のあり方が見直されたとしても、独りの人間として尊重しその場にいることを認め、孤立させないという最も基本的なことを、私は大切に守っていきたいのです。

20年前、私の臨床実習では、毎週、先輩OT、PTに連れられて、食わされ、飲まされ、脱がされ…。あの頃の実習が懐かしいとか、良かったなどというセンチメンタルな気持ちはひとかけらもない。

ただ確かに、『孤独』ではなかった、その1点において、私は当時の先輩方に感謝しています。

あなたが実習指導者として、本当に大切にしたいことは何でしょうか?



群馬県作業療法士会 令和2年度 第1回理事会

日 時: 令和2年8月7日(金) 19:00~21:00

Zoom使用でのリモート会議

参加者: 新井、関根、市川、李、今村、小此木、勝野、高坂、柴田、 都丸、村井、山浦、高橋 計13名

I.会長から

コロナ渦の中、リモートでの会議となりましたが、遠方から 参加していた身からすると、移動が無い事は助かります。また 会としても交通費無しで行える事は良いと思う。

先日のコロナフレイルの掲載については、他の会からも助言を求められるなどつながっていると感じている。こういう状況をバネにして活動していく事が大切。今後、会議や研修をどう運営していくかが重要である。

II.各部議事

1.教育部[報告者:今村]

【報告事項】

1)会議 ブロック長会議 コロナウイルス流行のため、メール で随時審議を実施。

6/16、7/28にzoomを使用しリモート会議実施。

【検討内容】

- 1. 4/21に群馬県立心臓血管センターで開催予定であった 新人症例発表会は延期。
 - → 2021年2月21日に高崎市総合福祉センターでの開催に向けて準備開始。
- 2. 生涯教育システム稼働、生涯教育手帳の電子化移行についてHP上でアナウンス開始
 - → 2019年度以前の県士会印の押印処理については9 月以降に郵送窓口を設置して対応する。

郵送窓口は七日市病院の戸部SG長、教育部の今井が 担当。

- 3.2020年度の教育部主催の研修会について
 - → 新人症例発表会、現職者選択研修(精神領域)の開催 に向けて準備開始。

3密回避などの感染予防対策の準備も並行して実施。 現職者共通研修に関しては、医療福祉eチャンネルでの 受講方法をニュースとHP上でアナウンス実施。

- 4. 東毛ブロック長の後任について
 - → 太田医療、本島総合病院、大島病院へ打診中。

2) 研修会報告

1. 【現職者選択研修(精神領域)】2021年1月以降の開催を予定 時間:未定(9:00~17:00予定) 会場:未定 講師:未定

2. 【新人症例発表会】2021年2月21日(日)を予定 時間:未定(9:30~16:00予定) 会場:高崎市総合福祉センターを予定

【審議事項】 なし

2. 広報部[報告者:都丸]

【報告事項】

- 1)公益事業グループ
- 1.コロナウイルスの感染拡大による影響から、高校生作業療法 体験等、例年開催していた広報活動は全て実施できておりませ

ん。例年参加している前橋市の健康フェスタinまえばしは今年度の開催は中止との連絡がありました。現状を考えると今年度はイベント等での広報活動は難しいと考えております。 SNS等を利用し、今できる広報活動を進めていきたいと考えております。

2) ニュース編集グループ

- 1.7月号の発行が済み、次号は10月号の発行。
- 2. 研修会や各広報イベントが軒並み中止となっているため、情報が得にくく、普段にも増して内容が薄くなってしまっているのが現状です。
- 3.7月号はコロナ禍における活動を中心に地域OT推進部の 方々にご協力を頂きました。ご協力ありがとうございました。 他職種の広報誌やwebを見ると、やはりコロナ禍における 対策や活動について書かれているものが多い印象。そこで 10月号では各部の例年とは違う活動の様子や今後の展望 や今回のコロナ関連で生活や職場環境が変化したことが 考えられるので、ストレス面に着目した内容で構成を検討し ています。
- 4.各部の代表の方や精神科領域ならびに職場でのメンタルへ ルス等に関与している方にぜひご協力をお願いしたいと思 います。
- 5. 今後もニュース掲載記事等ございましたら、担当アドレス宛 (反町)までご連絡頂けると幸いです。ご協力をお願い致します。
- 3) 広報企画グループ
- 1.県士会リーフレットの改定に向けた業者との連絡を行いつ つ広報部内のグループと協力し情報収集を必要に応じて実 施しています。

【審議事項】 なし

3. 地域作業療法推進部資料[報告者:高坂] 【報告事項】

1)地域包括ケア推進グループ

5月4日に第1回WEB会議を実施し、今年度の活動計画に ついて検討した。

- 1.6月2日に第2回WEB会議を実施し、オンライン研修の開催 方法、対外的アプローチの対象及び手段について検討し た。
- 2.「健康増進のためのワンポイントアドバイスvol.3」を発行した。
- 3.8月8日(土)13:30~17:30に地域包括ケア人材育成研修会へ、高坂、小澤、山口の3名で参加予定である。
- 4. 令和2年4月1日付で、令和2年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業(介護分)より補助金額の内示通知 (471,000円)があった。
- 2) 認知症支援推進グループ

5月11日に第1回WEB会議を実施し、昨年度の決算報告を見直し、今年度の事業計画、役割分担について検討した。

- 1.7月27日に第2回WEB会議を実施し、今年度の認知症ケ ア資質向上のための研修会の内容および実施方法(オン ラインと対面の両方)について検討した。
- 2.8月上旬に「健康増進のためのワンポイントアドバイス vol.6」を発行予定。
- 3. 県内の認知症への対応について、日本作業療法士協会制度対策部保険対策委員会へ資料を提出予定である。

- 4.10月24日(土)13時から17時 群馬県公社総合ビルで「認 知症ケア資質向上のための研修会①」を対面式で実施予定 である。
- 5.2月13日(土)13時から17時 高崎市総合福祉センター で「認知症ケア資質向上のための研修会②」を対面式で実 施予定である。
- 3) 精神科領域推進グループ長
- 1.6月1日web会議にて、今年度の事業計画、役割分担、新入 部員の勧誘について検討した。
- 2.7月6日web会議にて、情報交勧会、健康増進のためのワンポイントアドバイスvol.4について検討した。
- 3. 「健康増進のためのワンポイントアドバイスvol.4」を発行した。
- 4. 自殺予防対策事業での研修会は運営の困難さから県と事 前調整の上、中止の予定である。それに伴い、県の自殺対策 「支援情報検索サイト」からも情報が削除される。
- 4) 発達支援推進グループ (報告者: 勝野)
- 1.「健康増進のためのワンポイントアドバイスvol.5」を発行した。群馬県教育委員会へチラシ発行の案内を7月29日に送付した。
- 2.11月に予定している保育士向け研修会は中止を検討している。
- 3.9月以降の定期勉強会はWEB開催の準備をしている。
- 4. 群馬県教育委員会から今年度の外部専門家配置事業について10月から2月までの実施期間で依頼があり受託した。

5) その他

- 1.「健康増進のためのワンポイントアドバイス」資料発行に向けて会議を行った。
- 2. 役職者意見交換の下、「健康増進のためのワンポイントアドバイスvol.1」「健康増進のためのワンポイントアドバイスvol.2」を発行した。
- 3. 令和2年7月31日 部内での情報発信に関して(メーリング リストの活用など)について役職者会議を開催した。

【審議事項】 なし

4. 運転と作業療法特設委員会[報告者:李] 【報告事項】

1) 第8回ぐんま自動車運転リハビリテーション研究会研修会および指定自動車教習所交流会は新型コロナウイルスの影響で中止となった. 次回開催時期は未定.

【審議事項】 なし

5.養成校連絡協議会[報告者:高坂] 【報告事項】

1) 令和2年度臨床実習指導者講習会(都道府県講習会)について今年度2回、来年度3回を予定。

今年度については下記日程で調整中である。

【第1回】日時:12月12日~13日、12月19日~20日 場所:群馬大学 定員:50名

講師:各コマ1名及びファシリテーター7名を原則

【第2回】日時:2月27日~28日、3月6日~7日

場所:太田医療技術専門学校 定員:50名 講師:各コマ1名及びファシリテーター7名を原則

第1週 土曜日午後(第1日目)

演	響の卵	関は太字(分)	鉄義内容とその順序
1	5	14:00~14:05	受付開始 開会 オリエンテーション (講習会の進め方)
2	30	14:05~14:35	講義1 理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論 意 義・目的・内容・仕組み
3	60	14:40~15:40	演習1 一般目標と行動目標

第1週 日曜日(第2日目)

2	実習の影	特間は太字(分)	講義内容とその順序	
4	60	10:00~11:00	講義 2-1 臨床実習指導方法論① 学生の特徴と対応 対象者の捉えかた 臨床実習指導のあり方	
5	60	11:10~12:10	講義 2-2 臨床実習指導方法論② 見学・模倣・実施プロセスと指導ポイント コーチング・ティーチング	
		昼休み		
6	90	13:10~14:40	演習2 基本的態度・薩床技能・薩床志向過程の見学・模倣・実施の実践	
7	30	14:50~15:20	講義3 臨床実習における管理・運営 臨床実習の基本構造、バラスメント リスク管理、個人情報の保護	
8	60	15:30~16:30	演習3 ハラスメント防止	

第2週 土曜日(第3日目)

演習の時間は太字(分)			講義内容とその順序	
9	60	10:00~11:00	講義 4 臨床実習における学生評価 教育評価の意義 学生評価とは 評価 の側面と役割(OSCEの活用)	
10	90	11:10~12:40	演習4 臨床実習における学生評価 重要ポイントの整理、実習遂行が困難 な学生への対処法	
		昼休み		
11	30	13:40~14:10	講義5 職業倫理および連携論 多職種連携・チームワーク論・卒後教育と の関連	
12	60	14:20~15:20	演習5 多聯種連携	
13	60	15:30~16:30	講義6 臨床実習指導方法論③ 生活行為向上マネジメント (MTDLP)	

第2週 日曜日(第4日目)

演習	の時	間は太字(分)	講義内容とその順序
14	90	10:00~11:30	演習6-1 MTDLPによるマネジメント 過程の実践
		昼休み	
15	90	12:30~14:00	演習6-2 事例報告書の作成 事例報告書の作成指導・報告の仕方 臨床思 考過程の理解と指導
16	90	14:10~15:40	演習7 作業療法参加型実習の理解 作業療法参加型実習のあり方
17	5	15:40~15:45	閉会 事務連絡等

研修会前に講師と養成校連絡協議会のメンバーで意見交換・練習会を1か月前に実施する予定である2)令和2年度の学生交流会の開催について

今年度の交流会は新人症例発表会と合わせ中止とする。

【審議事項】

- 1. 会議や各種研修会等に際し、ZOOMアカウント(1アカウント 100名まで)の使用を許可願いたい。
 - → 費用等確認、各部でいくつ必要か確認しメール審議で 再検討。

6. 地域局

1) 西毛ブロック[報告者:山浦]

【報告事項】

- 1. 西毛ブロック支部主任者へ今年度の活動予定についてメール配信を行った。
- ①主任代表者会議は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため主 任者の各施設内の負担も考慮して現段階では実施しない。
- ②主任者同士のつながりを継続していくためにブロック支部活動に 関わる情報発信や今後の活動に関する提案事項を行っていく。
- ③地域作業療法推進部が行う予定の主任者へのアンケートに対す る協力の依頼。
- 2. 第2回医療介護連携フェスティバルについて6月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止となった。

【審議事項】 なし

2) 北中毛ブロック[報告者:小此木] 【報告事項】

- 1. 新型コロナウイルス感染症の影響により主任者会議など集まりは 困難な状況のため実施しない方向で検討。
- 2. 県士会、ブロック支部に活動に関わる情報発信は行いながら検討。

3. 各ブロック支部と情報交換、共有を行なっていく。

【審議事項】 なし

3) 東毛ブロック[報告者:今村]

【報告事項】

1. 太田市介護予防自主グループ支援事業「認知症予防について」

講師派遣調整依頼あり。広域支援センターと連携中。

部員に問合せし、現在調整中。

開催日程: 令和3年1~2月中で6か所のグループで要望あり。

予防策としては3蜜予防、検温、換気という一般的なものでの 実施を検討とのこと。

所属施設によっては講師派遣に消極的なところもあり、配慮 しながら進める。

2. 症例検討会は第2波の兆しもあり、開催時期未定のため実施可否検討中。

【審議事項】 なし

7. 災害対応委員会

【審議事項】

1) 下記のシミュレーション訓練に参加してよいか。

内容:災害対応委員間でのLINE(登録者のみ)安否確認、災害対策本部設置訓練を行いたい。

事前準備:委員のLINE登録、災害対策本部マニュアル作成 (関根)

【日本作業療法士協会 災害対策室】 2020年度大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練 の実施についての希望調査

平素より一般社団法人日本作業療法士協会の活動にご協力 ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年度に引き続き、協会と士会が協力し各都道府県の地域において大規模災害が発災したという想定の下で、各地域の被災状況や会員の安否確認等を行う災害訓練を行っていだきたいと考えております。

今年度につきましても、実施可能な士会の手上げによる実施といたします(2019年度:44士会)。各士会の災害対策における実情に合わせて、被災状況や安否確認の範囲など参加可能な訓練内容をご検討いただき、ご参加の可否をお知らせください。訓練実施日は、2020年9月25日(水)11時ころ(協会からのメール発信)を予定しております。

なお、実施日は多少前後しても構いませんし、今年度内に行った実績をご報告いただいても結構です。昨年度は訓練前後に台風災害が発生しており、訓練当日には災害対応を余儀なくされていた士会もありました。訓練前後に災害が発生した、あるいは発生が予測される場合には、そちらを優先して、その結果をご報告いただけると幸甚です。

ご多用とは存じますが、参加のご検討をよろしくお願い申し上げます。

●士会名

(群馬県)士会

●2020年度訓練への参加について



●参加する場合の実施方法について

各士会の実情に合わせた参加可能な訓練内容について教えてください(予定でも可)。

△士会役員レベルでの連絡網による被災状況、安否確認

□ブロック担当者レベルでの連絡網による被災状況、安否確認_{\/}

□士会員レベルでの被災状況、安否確認

□その他(災害対策本部設置訓練

●参加できない場合について、差支えない範囲で理由を教えてください。

(

日本作業療法士協会 災害対策室返信先: ot-saigai@jaot.or.jp 締切り:8月28日(金)必着

→ 参加する方向で、結果を含めて検討していく。

全県下の把握が必要だが、まずは各ブロック、さらに小さくして各地域ごとに行う必要性があり、

それらがつながれるように考えていかなければならない。小さい 所から中央への流れが出来ていければと思う。リアクションがあ るなしの差がある所をどうしていくか等考えていく事が必要。

8. 学術部[報告者:李]

【報告事項】

- 1) 県士会における学術支援活動を行なった。
- 2) 第2回学術部 担当理事·部長·グループ長 会議を行った。 【審議討事項】なし

1)学術研究グループ

【報告事項】

- 1. 学術研究グループの支援を受けた10名の会員がOT学会に 採択された。(勉強会参加8名, その他2名)
- 2. 今年度の学術研究グループの勉強会に3名の応募があり、7 月17日に第1回目の勉強会をオンラインで開催した。
- 3.8月28日にがん作業療法の臨床と研究について、オンライン にて勉強会を実施する予定
- 4. 県内のがん作業量研究を促進するために、公立藤岡総合病院の藤井洋有氏、太田記念病院の堀越晃子氏が学術研究グループの部員に加わった。

【審議事項】なし

2)学会支援グループ

【報告事項】

1. 第23回群馬県作業療法学会は新型コロナウイルスの影響に より延期が決定した(令和3年に開催予定)。

【審議事項】 なし

3)機関誌編集グループ

【報告事項】

1.2020年度機関誌の投稿論文募集継続中。

【審議事項】 なし

9. 福利厚生部[報告者:市川]

【報告事項】 Zoomで会議を行った。

1) リレーフォーライフについて

1. 今年度も後援団体として会長の承認を頂き、事務局から返送して頂きました。

- 2. 今年度のリレーウォークは中止となっています。しかし、今年 度、各団体から応援メッセージ等の動画や写真を募集し、そ れらをつなぎ、応援リレー動画を作成してWEB上に公開する ようです。募集期間やどのような形で動画や写真を作成するの かは不明です。
- 2) 県学会関連
- 1. 県学会の審査基準、審査期間について学術部と継続検討をし
- 2. 運用は来年度の県学会を目指し進めていきます。

【審議事項】

- 1. リレーフォーライフの動画作成・提出をしても良いか → 承認
- 2. 作業は福利厚生部を中心に進めさせていただく形で良いか

10. 事務局

【報告事項】

1) HPへのセミナー等研修会の掲載について問い合わせが増

今までHPに関しては会員の益になるものは掲載してきた。 以前、県士会ニュースに関しての広告掲載については規約作 成済。別紙参照

【審議事項】

1. ニュース以外の広告に関して現在の広告規定に追加していく のか、新たなものを作成するのが良いか。→ 求人広告等の掲 載は必要(情報提供ができる)。配布物を混ぜても良いが、1枚 いくらかかるか。広告収入としていくか、相手のHPへ飛ぶよう にリンクしていく等やり方も色々ある。

他の所をリサーチしてガイドラインのたたき台を作って再検討

2. 掲載するかしないかをどこの部署で検討するのが良いか? → 提供するからには、掲載の可否等確認は必要。再検討

11. その他

- 1)介護ロボット関係について 全国13協議会の中に入ることが出来、今年度も推進会議を 行う事になった。次回8/17予定
- 2) 理事会について 年度内はリモート会議で実施する予定。

次回開催 令和2年10月21日(水)19:00~



仕事も遊びも大切にしたい方!!

勤務地・仕事内容

前橋・高崎・渋川・伊勢崎エリア 訪問看護ステーションからのリハビリ業務

勤務形態/勤務時間

- ■正社員/8:30~17:30
- ■準社員/8:30~17:30 のうち4.5時間以上 小学校卒業までの子を持つ親または 同居家族の介護を行っている場合
- ■パート/8:30~17:30 のうち3時間以上

給与

基本給+資格手当+実績手当 260,000円~ (準社員・パートは勤務時間により変動) 経験考慮いたします

休日・休暇

- ■年間120日以上
- ■土・日・祝日(成人の日は除く)
- ■夏期休暇、年末年始
- ■特別検診等休暇、参観休暇、介護楽しんで休暇、 パパ産休などの独自の特別有給休暇

待遇・福利厚生

- ■各種保険加入 ■退職金制度
- ■賞与年2回(昨年度実績)
- ■研修参加補助金制度
- ■マンツーマン指導あり

働き方改革への先進的な取り組みで 国や県からの受賞多数。

●お問い合せ先



〒376-0011 群馬県桐生市相生町2丁目261-3

20277-55-5422 担当:しかぎ

受付時間/8:00~17:30(土・日・祝休)

ぜひ一度 弊社ホームページを ご覧ください!

COCO-LO

検索

令和2年度 第一回 メンタルヘルス情報交換会が 行われました!!

変わりゆく臨床実習指導の方向性について、新しい形の臨床実習指導を軸に概要についてや、メリット・デメリット、後進育成について普段感じていることなどを話し合いました。

今年は主流になりつつあるZOOMを用いてのオンライン開催でしたが、自宅などの環境から硬いものになり

過ぎず、緩くなり過ぎない時間を共有できたように思います。特に精神科領域の実習指導は、従来の形、新しい形問わずに業務の特性から対応や到達目標の点で難しさが感じられますが、これは領域関係なく悩める部分かと感じます。

第一回は参加者が少なく、いつものグループ員での開催になってしまったことは残念でしたが、次回開催も引き続き臨床実習をテーマにした内容ですので、領域問わずたくさんの方の参加をお待ちしています!



前層市で働ける作業療法主さんを募集いたします!

応募資格·条件 未経験OK

募集人数・募集背景 2名(事業拡大のため)

勤務地 転勤なし

訪問看護ステーションこはる

群馬県前橋市堀越町362-3(最寄駅:大胡)

勤務時間

残業なし8:30~17:30

勤務時間、勤務日は希望に応じて対応いたします。

給与

年収 2,920,000円 ~ 4,400,000円 (※想定月給 210,000円 ~ 300,000円)

週休2日、交通費支給、休日年116日以上、年末年始休暇、 特別休暇(季節休暇)、実務手当、携帯手当あり

- ◇ 年末年始休暇 ◇ 季節休暇 ◇ 年116日以上
- ◇ 雇用保険 ◇ 厚生年金 ◇ 労災保険
- ◇ 健康保険 ◇ 交通費支給あり
- ◇資格取得支援・手当てあり
- ◇育児支援・託児所あり

問い合わせ

tel.080-4925-3344/027-289-5863 担当:秋沢

ステーション紹介・・・・・・・・・・

訪問看護ステーションこはるでは現在看護師7名、理学療法士4名、作業療法士1名が在籍し、スタッフは20代~60代と幅広くそれぞれの知識、経験を出し合って働いています。

私たちは、訪問により利用者様がどうしたらより暮らしやすいかを一緒に考え、その日その時に必要なすべてに対応できることを目標にチームで取り組んでいます。

一人ひとりに寄り添って、自宅で生きていくための支援をしたい、そんな 気持ちを持っているOTさん、ぜひ一緒に働きましょう!

ブランクがあったり、訪問看護(リハ)未経験でも大丈夫です。人工呼吸器など専門的な知識は呼吸療法認定士が、他事業所との連携はケアマネ資格者がサポート致します。シスター・ブラザー制度を採り入れていますので、質問や相談がしやすい環境です。また大学付属ステーションの同行訪問など研修支援体制は整えております!



第2回

作業療法士のための

@ぐんま

臨床実習指導の実施について ~どんな実習にすればいいの?~

第1回の情報交歓会では、養成校指定規則の改訂やその経緯を学び、今後の実習指導の課題などについて考えを深めました。今回は、既に新たな実習指導方法について模索、実践されている三枚橋病院の清水先生に実際の指導方法についてお話していただき、現1年生から適用される新しい形の臨床実習への準備を進めていきたいと思います。

開催日時 11月13日(Fri.) 20:00~21:30 話題提供 清水 康弘 先生 (三枚橋病院)

参加費

無料



オンライン開催

会場

ZOOMによるオンライン開催 自宅などからPC・スマートフォンにてご参加ください

対象

原則、群馬県作業療法士会員および4年目以上の方

参加方法 右のQRコードもしくは、seishin ot gunma@yahoo.co.jp宛に、①氏名、②所属、③メールアドレス、④その他(あれば)をお送りください。後日メールアドレスにZOOMへの参加方法、ID、パスワードをお送りいたします。ご不明な点はお問い合わせください。



主催 群馬県作業療法士会 地域作業療法推進部 精神科領域推進グループ

Contact

Tel. 0270-74-0633 伊勢崎市境上武士898-1 (医療法人原会 原病院, 加藤)

伊劳呵印兔工武工050 1(区景仏八原云 原附阮,加除

施設紹介

(株)Pure Next

【施設の概要】

私の勤務している(株)Pure Nextには3つの施設がありま す。吾妻郡中之条町にて地域密着型通所介護施設もてなし 日和えん(2013.6~)、渋川市村上にて通所介護施設もて なし日和ゆのえん(2016.8~)、吾妻郡中之条町にてショッ ピングリハビリ施設ひかりサロン(2020.1~)を開設し、会 社理念を「楽しいをあなたに。楽しいをわたしに。」と掲げ、 地域の方々が笑顔で穏やかに暮らしていけるよう、スタッフ 自身も楽しみながらサービスを提供しています。今回は私 の所属するゆのえんについて詳しく紹介します。ゆのえんは 元々温泉旅館であった建物をそのまま活用しています。和 風な雰囲気の中で誰もがリラックスでき、ほっとするような 楽しいわが家を目指しているデイサービスです。入浴は小 野上の天然温泉にゆっくり浸かることができ、皮膚疾患や 関節痛にも効果があり心身ともにリフレッシュできると好評 です。また、職員も明るくチームワークも抜群で、会話や笑顔 が絶えない空間となっています。





【リハビリテーション部】

ゆのえんのリハビリ職は、PT・OT・ST各1名おり、利用者様一人一人のニーズに沿ったリハビリが提供できるよう、 看護師、介護職員と日々密に情報交換を行いながら関わるように心がけています。主に個別リハビリや、マシンを用いた筋力強化、1日3回の集団体操、脳機能賦活のためのプリントや作業活動等を行い心身機能の維持・向上を図っています。また、送迎業務を行うことで利用者様の生活環境の把握や、ご家族様とのコミュニケーションを通し、慣れ親しんだ地域、ご自宅での生活を続けられるようサポートしています。病院とは異なり、リハビリ器具や自助具等も不十分な面もありますが、知恵を出し合って利用者様にも参加してもらいながら用具の作成なども行っています。最近では、疼痛や筋緊張の緩和を目的とした小豆ホットパックを作成してもらうことで、役割のある時間を過ごしていただきました。作業療法士1名の職場ということで、力不足や悩むこともありますが、職員の方々や利用者様に支えていただき、今後も笑顔を忘れず自己研鑽を積んでいきたいと思います。



ぜひFaceBookで当施設の様子を覗いてみて下さい!



花あかりで働く理学療法士 ・作業療法士を大募集!!

訪問看護ステーション花あかりでは、看護と連携しながらより 効果的なリハビリを追求し、生活に必要なリハビリ支援や保険 外のサービスまで、自宅や介護施設に生活しながらも、より本 人らしい質の高い生活のためにあらゆる支援を行っています。 対象疾患は脳血管障害(急性期~維持期)、整形疾患(上肢、脊 髄、下肢)、内部障害(呼吸循環、腎臓リハ)、神経難病、がん終末 期、認知症、精神疾患など幅広く対応しています。また地域にお ける体操教室や勉強会など、行政や地域包括支援センターと 連携しながら各種セミナーなども開催しています。

花あかりでは子育て中の女性職員、女性セラピストも活躍中です! 経験年数の浅い方も大歓迎!バイタルサインの理解と急性期~ 慢性期までのリスク管理、症状のとらえ方、フィジカルアセスメ ントまですべてお伝えします!

集理学療法士、作業療法士

◎勤務形態 正社員(非常勤は要相談)

◎勤務時間 8:30~17:30、週休2日、年末年始

与 年俸360~430万円(経験加算あり、各種手当別途、 各種認定資格保持者・急性期経験者優遇します)



〒376-0121 群馬県桐生市新里町新川715-11 ファミリアイマイE号室 TEL:0277-51-3124

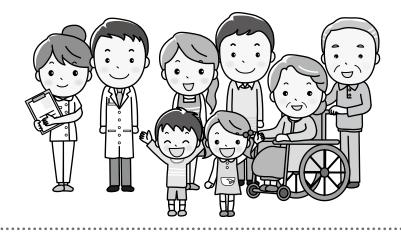
ニュースでは、日頃感じている些細な疑問や 日常業務で工夫している点、こんな研修会に 参加した…などなど、皆様からの投稿を 募集しております。

どんなことでも構いませんので、 お気軽にお寄せ下さい。お待ちしております!!

アドレス: dc_nanohana@yahoo.co.jp 広報部・ニュース編集グループ 反町拓海

県士会ホームページアドレス

http://www.gunma-ot.org/



今年は新型コロナウイルスの影響か時間の過ぎるのが一層早く感じ、気付けば残り2ヶ月程になろうとしている。今 号では、実習・後進育成を軸に巻頭言を群馬大学附属病院の長谷川先生に執筆して頂いた。経験豊富な長谷川先 生だからこその視点や御考えが豊富であり,何度も拝読させて頂いた.御存知とは思うが、制度の改定により実習指 導のあり方が変わろうとしている。しかし普段の臨床現場において、それをあまり感じることがなくどこか全体的に無 関心なところはないだろうか。学生指導や後輩の指導は単に経験者として物を言うのではなく、逆に学ぶことも多いと 思う。ぜひ長谷川先生の巻頭言を拝読し、11月に行われる精神科グループ主催の情報交歓会にて、いまいちど関心 を向けて貰えたらと思う。 S

群馬県作業療法士会ニュース

発 行 者 || 新井 健五

〒371-0024 前橋市紅雲町1丁目7番12号 TEL·FAX 027-224-4649 発 行 所 || 群馬県作業療法士会事務局 編集代表 || 反町 拓海 編集委員 | 関 仁紀、下田 幸、辻 千鶴子、大脇 宗雅 印刷 || 星野印刷株式会社